９月のほけんだより

令和年８月３０日
しんあい保育園

９月になりましたが、残暑が厳しい季節です。気温の変化で体調を崩さないように気を付けましょう。また、９月１日は防災の日、９月９日は救急の日です。災害時の対応、対策について日頃から備えておきましょう。災害以外にも、家庭などの生活環境でも事故や怪我が起こる可能性があるため、対策について考えていきましょう。

９月１日は防災の日

９月１日は「防災の日」です。いざという時に備えて、ぜひ家族全員で確認をして下さい。

非常時の持ち出し品の準備
リュックの中には非常時の持ち物を詰めておきましょう

避難する場所
避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう

地震で倒れやすい物はないか
棚の上に置いてある物は下ろし、倒れそうな物などは固定するなどの工夫をしましょう。

家族がはぐれた場合の連絡方法
はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身に付けるようにしましょう。

～新型コロナウイルス感染症～

全国的に感染者が増加している状況にあります。日々の健康状態の観察と感染予防対策の徹底をお願いします。

【症状】
発熱、咳、呼吸困難、倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節痛、筋肉痛、下痢、吐き気、嘔吐など。
・感染者からウイルスがうつる可能性がある期間は発症の２日前からと言われています。症状が見られる場合には、登園や出勤を控えて、かかりつけ医や発熱等受診相談センター等へ連絡をしましょう。

【家族に感染が疑われる場合　家庭内で注意いただきたいこと】
・部屋を分けましょう
・マスクをつけましょう。
・感染者の世話はできるだけ限られた方で行いましょう
・換気をしましょう
・こまめに手を洗いましょう
・汚れたリネン・服などは洗いましょう
・ゴミは密閉して捨てましょう
・手で触れる共有部分を消毒しましょう

＊ご本人は外出を避けて下さい。
＊ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避けましょう。特に咳や発熱などの症状がある時には、職場などにいかないでください。

一般社団法人日本環境感染学会、国立感染症研究所感染症疫学センターHP より

９月９日は救急の日

９月月９日は「救急の日」です。子どもの怪我や事故を防ぐためには、子ども　の目で危険を考えることが大切です。そして、怪我をしてしまった時は、手当とともに、なぜ怪我をしたのかを一緒に考え、次の怪我予防につなげましょう。

①　服装（ふくそう）

服についている飾りやひもが遊具に引っかかったりすると、怪我の原因に。

②　靴（くつ）

小さい靴は足を痛めたり、大きすぎる靴は脱げやすいので、つまづいたり、転んだりする原因に。

③　爪（つめ）

爪が伸びていると、自分や友だちに怪我をさせたり、爪が折れて痛くなることも。

④　目（め）

子どもが遊んでいる時は、見て確認し、遊んでいる間は目を離さないように。

⑤　手（て）

横断歩道を渡るときや駐車場を歩く時には必ず手をつなぎましょう。

⑥　声（こえ）

危険な場面ではなぜ危ないかを説明し、危険な場所や行動について教えましょう。